

①伊丹市が行うのは、どのような事業で、目的は何ですか。

②どんな用途を想定していますか。該当箇所には線を引きましょう。

③この事業を行うに当たり、住民の役割を書きましよう。

学校名) () 年
名前) ()

③この記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましよう。

◎考えてみよう！ 伊丹市の事業を参考に、あなたの学校の校区内での問題点を考え、改善策を家族や友達と考えてみましょう

伊丹市各校区に600万円

使い道住民が協議し提案

県内初導入

伊丹市は、市内の17小学校区単位の地域組織に対し、それぞれ上限600万円の予算枠を設け、施設整備などに充てる事業を始める。地元住民が話し合っって用途を決め、市に提案する形。住民が

県内では初めてで、早ければ7月から提案を受け付ける。市が想定するのは道路の補修、街灯の修繕・設置、ガードレールやカーブミラーの設置といった身近な課題。自治会やまちづくり協議会など、小学校区単位の組織が

窓口となって住民の要望をまとめ、市に提案する。市は内容を「査定」し、1地域600万円を上限に実現を目指す。年度内に完了する事業に限り、提案を出さなかった地域はその年度の事業は実施しない。限度額に達しなかった場合は追加提案できる。市は2013年度補正予算案に1億200万円を盛り込み、6月市会に提案。今後、各地域で制度の概要や各種工事の費用などを説明する。市まちづくり推進課は「地域の目線で課題を議論してもらうことで、住民自治を進め、よりよい地域づくりの一步としたい」としている。

付金を一定配分する制度を実施している。

(太中麻美)

神戸新聞NIEワークシート
小学校高学年～中学校
社会、総合学習、朝NIE